

第2学年通信

第8号 平成27年11月30日(月)

ホームページ <http://www.nc.isesaki-hs.gsn.ed.jp/>

小堀先生からのメッセージ

やってもやらなくても結果が同じだとしたら、みんなは「それ」をやりますか？江戸時代後期の人物・二宮金次郎（尊徳）は、薪を背負って勉強する勤勉・勤労を絵に描いたような姿で銅像になっていることが多いので、知っている人も多いと思います。彼は成人して何をしたかという、篤農家（農業に熱心で技術の進歩と普及に取り組む人）として農民たちの指導にあたりました。

この頃の農村は、養蚕などで成功して豪農・地主として成功する農民がいる一方、農業経営に失敗したりやる気をなくしたりして家族を捨てて村を離れる農民（ふとで者）や、博徒（ばくち打ち）としてやくざな生活をする元農民（渡世人）など、格差が広がり荒廃がすすんでいたのです。

あるとき金次郎は「働いても働かなくてもどっちみち食えないから働かない」という農民をさとしてこう言います。「今年は凶作になるかもしれないから田畑の手入れをしない、というのは間違っている。明日のことは分からないが、今日の勤めの田の草は取るべきだ。もし本当に凶作で、いよいよ食べるものが何もなくなったというのなら、鍋釜茶碗を洗って、いさぎよく餓死しよう。無駄なことではない。これらのものには今日まで生かさせてもらった恩があるからだ。このような考え方をする者はいくらでも活路を見出せるものだ…」

勉強で、部活で、何かを実現したいと思っている人、あるいは何か夢があってそれを実現させたいと思っている人、目指すものが見つからない人、いろいろいると思います。まずは、やりはじめてはどうでしょうか。

よく「役に立つことはやるけど、役に立たないことはやらない」という人がいますが、何が役に立つのかは今この瞬間には分かりません。今役に立つことも、時代や環境が変われば無意味になることもあります。語学やITや投資やコミュニケーションスキルは役立つけど、他の学問は役立たないので学ぶ価値がないという大人がいます。そういう人はビジネスの世界で成功し自信を持っているのですが、自分の世界しか見えていないように感じます。誰からも愛される素敵な大人になるためにも、学べるものは何でも学び、知りたいと思うものは何でも突き詰めていってほしいです。そして他人が無価値と思えるようなものに価値を見出せる創造力のある人になってほしい、昔の人が守り伝えてきたものを大事にできる人になってほしいと思います。

最後に、では何をやるべきかですが、それを考えて行動するのが大人への第一歩だと思います。課題を出してほしい、サボらないように厳しくしてほしい、確かにそれは先生たちの仕事の一部かもしれませんが、形を変えた「甘え」でもあります。禅の教えに「自分がやらなくて、誰がやるのか」「今やらなくて、いつやるのか」とありますが、欧米にも「Seize the day（この日をつかめ）」という似た考えがあります。皆さんも、一日一日を大事にして生活してください。日々是好日。

保護者の皆さんへ

生徒達は、目標とする進路を決め、それに伴って3年次に選択する科目を決めました。気持ちを新たにスタートが切れているようでしょうか？大げさかも知れませんが、これからの1年が、その先の何十年に影響を与えることは、間違いありません。叱咤激励しつつ、応援してあげてください。

日	曜日	12月の行事予定	備考
1	火	期末考査、 保護者向け進路講演会 (市民プラザ14:00～)	
2	水	〃	
3	木	〃	
4	金		
5	土	土曜補習⑦	
6	日		校舎内にはいれません
7	月	今週のコラム-特別号④	
8	火	小学校訪問(采女小)	
9	水	小学校訪問(采女小)	
10	木		
11	金	大学見学	
12	土		
13	日		校舎内にはいれません
14	月		
15	火	文化部発表会(～18日) 高大連携授業	
16	水		スクールカウンセラー 学生スクールカウンセラー
17	木		
18	金	文化部発表会ステージ発表	
19	土	土曜補習⑧	
20	日		校舎内にはいれません
21	月		
22	火	終業式	授業1～3限
23	水	(祝)天皇誕生日	校舎内にはいれません
24	木	冬季補習	
25	金	〃	
26	土		
27	日		校舎内にはいれません
28	月	〃	
29	火		校舎内にはいれません
30	水		校舎内にはいれません
31	木		校舎内にはいれません
日	曜日	1月の行事予定	備考
1	金	(祝)元日	校舎内にはいれません
2	土		校舎内にはいれません
3	日		校舎内にはいれません
4	月		
5	火		
6	水	始業式	
7	木	第3回校内学力テスト 志望校調査	
8	金	第3回校内学力テスト 学習量調査(～17日)	4～6限授業

今回の学年通信は、小堀高広先生にお願いしました。小堀先生は、2組の副担任で日本史の先生です。渋川青翠高校から本年度赴任した先生です。授業以外では、教務部や教育情報部の係をしていて、弓道部の顧問もしています。